



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月5日

上場取引所 東

上場会社名 クックパッド株式会社
コード番号 2193 URL <http://info.cookpad.com/>

代表者 (役職名) 代表執行役 (氏名) 稲田 誉輝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 菅間 淳

四半期報告書提出予定日 平成26年9月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6408-6143

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	2,052	—	811	—	812	—	446	—
26年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 411百万円 (—%) 26年4月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	13.49	13.36
26年4月期第1四半期	—	—

のれん償却前営業利益…26年12月期第1四半期 921百万円 (—%)、26年4月期第1四半期 一百万円 (—%)

「のれん償却前営業利益」の定義については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご参照ください。

(注) 当社は平成26年4月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年4月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年12月期第1四半期	9,066	—	7,937	—	86.9	—
26年4月期	9,648	—	7,943	—	82.0	—

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 7,876百万円 26年4月期 7,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成26年12月期の期末配当は未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成26年12月31日)

当社は、平成26年7月24日に開催しました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたため、平成26年度より決算期を4月30日から12月31日に変更することになりました。そのため、決算期変更の経過期間となる平成26年度は平成26年5月1日から平成26年12月31日までの8ヶ月決算となります。平成26年12月期の連結業績予想については、売上高と営業利益は平成25年5月1日から平成25年12月31日までの累計金額を上回ると見込んでいます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	33,078,400 株	26年4月期	33,074,800 株
26年12月期1Q	1,208 株	26年4月期	1,208 株
26年12月期1Q	33,075,392 株	26年4月期1Q	32,912,157 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2014年4月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

① 経営成績の概況

2014年12月期第1四半期連結累計期間(2014年5月1日～2014年7月31日)の業績は、

売上高	2,052百万円
のれん償却前営業利益	921百万円
営業利益	811百万円
経常利益	812百万円
四半期純利益	446百万円

となりました。

なお、のれん償却前営業利益は、会計上の営業利益に、買収及び事業譲受により生じたのれん償却額109百万円を足し戻したものです。

当第1四半期連結累計期間の業績に関する特記事項は以下のとおりです。

- イ. 売上高は2,052百万円となりました。会員事業において、プレミアム会員数が順調に増加し、140万人を突破しました。また、広告事業においてはスマートフォン広告が伸長しました。
- ロ. 販売費及び一般管理費は人件費を中心に増加し、1,203百万円となりました。
- ハ. 営業利益は811百万円となりました。なお、のれん償却前営業利益は921百万円となりました。

② 運営サービスの状況

「クックパッド」のべ月間利用者数は順調に推移し、2014年7月時点で4,493万人(前年同月比31.1%増)となりました。当サービスは日常生活導線上で利用されているため、日常生活の多様なシーンでインターネットの利用が可能なスマートフォンとの相性が非常に良く、特にスマートフォンからの利用者が順調に増加し、2,733万人(前年同月比54.7%増)となりました。今後も多様化するデバイスに適応したサービスの展開に注力していきます。また、レシピ数も堅調に増加しており、2014年7月末には累計投稿レシピ数が170万品を超えました。

2014年4月期から開始したレシピサービスの世界展開については、英語のレシピサービス「allthecoooks」、スペイン語のレシピサービス「Mis Recetas」及びインドネシア語圏のレシピサービス「Dapur Masak」において、クックパッドブランドへの統一を含めたサービス開発に注力し、利用者数の拡大を目指しています。

国内においては、レシピの投稿・検索にとどまらず、食に関連するあらゆるシーンで利用される食のインフラへとサービスを進化させるべく、新規事業の拡大にも引き続き注力していきます。

③ 事業別の状況

当第1四半期連結累計期間の売上高を事業別に示すと、次のとおりです。

事業別	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年5月1日 至 2014年7月31日)
会員事業(百万円)	1,190
広告事業(百万円)	764
その他(百万円)	98
合計(百万円)	2,052

(会員事業)

当第1四半期連結累計期間における会員事業の売上高は、1,190百万円となりました。プレミアムサービスへの入会につながる導線の改善及び携帯電話の販売店を通じたアフィリエイトを中心としたプロモーションを実施した結果、プレミアム会員数は順調に増加し、2014年7月末時点で140万人を超えました。

今後もさらなる新規サービスの追加やその認知向上によって、プレミアム会員数の拡大を目指していきます。

(広告事業)

当第1四半期連結累計期間における広告事業の売上高は、764百万円となりました。2014年4月期第3四半期連結会計期間より売上に寄与し始めたスマートフォン広告が順調に増加し、当第1四半期連結会計期間におけるスマートフォン広告の売上は303百万円となりました。今後もPC及びスマートフォンの両方において広く商品の認知を獲得できる広告商品を中核に据え、事業を成長させていきます。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、9,066百万円となりました。なお、流動資産は5,836百万円、固定資産は3,230百万円です。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,129百万円となりました。なお、流動負債は1,117百万円、固定負債は12百万円です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、7,937百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2014年7月24日に開催しました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたため、2014年度より決算期を4月30日から12月31日に変更することになりました。そのため、決算期変更の経過期間となる2014年度は2014年5月1日から2014年12月31日までの8ヶ月決算となります。2014年12月期の連結業績予想については、売上高と営業利益は2013年5月1日から2013年12月31日までの累計金額を上回ると見込んでいます。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,691,335	4,125,742
受取手形及び売掛金	1,343,918	1,502,095
その他	250,644	212,536
貸倒引当金	△3,028	△3,675
流動資産合計	6,282,869	5,836,699
固定資産		
有形固定資産	36,966	46,499
無形固定資産		
のれん	2,541,980	2,366,354
その他	63,621	59,668
無形固定資産合計	2,605,602	2,426,022
投資その他の資産	723,360	757,623
固定資産合計	3,365,929	3,230,145
資産合計	9,648,798	9,066,844
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,708	20,373
未払金	678,841	601,273
未払法人税等	846,556	302,261
その他	146,102	193,132
流動負債合計	1,693,208	1,117,040
固定負債		
長期借入金	12,092	12,092
固定負債合計	12,092	12,092
負債合計	1,705,300	1,129,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,425	872,342
資本剰余金	870,850	871,767
利益剰余金	6,182,035	6,168,454
自己株式	△1,185	△1,185
株主資本合計	7,923,124	7,911,378
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,366	△34,978
その他の包括利益累計額合計	△6,366	△34,978
新株予約権	26,740	61,312
純資産合計	7,943,498	7,937,712
負債純資産合計	9,648,798	9,066,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 2014年5月1日 至 2014年7月31日)	
売上高	2,052,903
売上原価	38,096
売上総利益	2,014,807
販売費及び一般管理費	1,203,539
営業利益	811,268
営業外収益	
受取利息	50
その他	1,140
営業外収益合計	1,190
営業外費用	
為替差損	218
営業外費用合計	218
経常利益	812,241
特別利益	
固定資産売却益	546
特別利益合計	546
特別損失	
固定資産除売却損	151
関係会社株式評価損	17,893
特別損失合計	18,045
税金等調整前四半期純利益	794,742
法人税、住民税及び事業税	295,617
法人税等調整額	52,634
法人税等合計	348,252
少数株主損益調整前四半期純利益	446,490
四半期純利益	446,490

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年 5月 1日 至 2014年 7月 31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	446,490
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△34,978
その他の包括利益合計	△34,978
四半期包括利益	411,512
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	411,512

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式取得による子会社化

当社は、2014年7月29日開催の経営会議の決議に基づき、以下のとおり、セレクトチャー株式会社の株式を取得しました。

1. 株式取得の目的

当社は、「食を中心とした生活インフラ」を提供すべく、食の周辺領域における新規事業の立ち上げに注力しています。その中でもEC事業においては、2012年7月より野菜の定期宅配「やさい便」を運営してきました。

今回、EC事業の拡大を目的として、衣料、キッチン用品及び雑貨のオンラインショップ「アンジェ (<http://www.angers-web.com/>)」を運営するセレクトチャー株式会社の株式を取得することとしました。

「アンジェ」は、顧客のニーズに合った商品を仕入れ、一部の商品については色や素材などをカスタマイズして販売しており、独自のオンラインショップに加えて「楽天市場」、「Yahoo!ショッピング」、「Amazon.co.jp」など各種モールにも出店しています。また、顧客属性は9割以上が女性、そのうち20～40代が8割以上となっており、「クックパッド」の利用者属性と重なっています。

今回の子会社化により、当社の取扱う商品の幅を広げ、かつ、事業運営ノウハウを融合することにより、EC事業の拡大により一層注力していきます。

2. 株式取得の相手先の名称

洞本 昌明

3. 株式取得対象会社の概要

(1) 被取得企業の名称	セレクトチャー株式会社
(2) 事業内容	衣料、キッチン用品及び雑貨のEC事業
(3) 資本金の額	10,000千円

4. 株式取得の時期

2014年8月1日

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

(1) 取得する株式の数	800株
(2) 取得価額	550,000千円
(3) 取得後の持分比率	80.0%

なお、発行済株式1,000株のうち200株については、2015年12月期中に取得することを予定しています。

6. 支払資金の調達及び支払方法

自己資金により充当